

# 令和6年度の相生市決算報告

令和6年度の決算がまとまりました。市がどのくらいのお金を収入し、主にどのような事業に使ったのか、また、市の財政が今どのような状態にあるのか、その概要を皆さんにお知らせします。

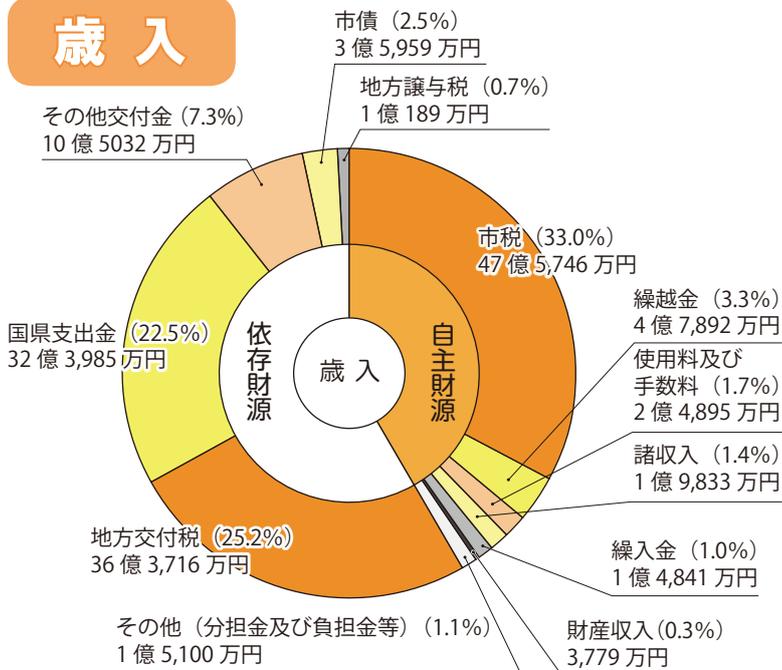
問 財政課財政係 ☎ 7127

一般会計  
決算

歳入 144億967万円

歳出 138億8,133万円

## 歳入



市税	市民税、固定資産税、軽自動車税など
地方交付税	全国一律の行政サービスを受けるため、国から配分される税
国・県支出金	国や県から使い道を指定して交付されるお金
市債	大きな事業を実施する場合などに、必要な財源を調達するための借金
繰越金	会計年度が終了し、次の年度に持ち越したお金
使用料及び手数料	施設利用や証明書などの発行時に徴収するお金

### ①子ども、高齢者、障がい者への福祉サービスなど

(民生費 51億9,583万円)

#### 主な実施事業

定額減税補足給付事業  
低所得世帯臨時支援給付金給付事業



### ②市役所の管理や選挙の執行など

(総務費 18億9,859万円)

#### 主な実施事業

庁舎管理事業  
戸籍住民基本台帳等事務事業



### ③道路や公園などの整備、市営住宅の管理運営など

(土木費 17億72万円)

#### 主な実施事業

道路橋梁整備事業、公園施設維持管理事業

### ④教育の振興や教育施設の維持管理など

(教育費 16億360万円)

#### 主な実施事業

市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業  
市民体育館管理運営事業



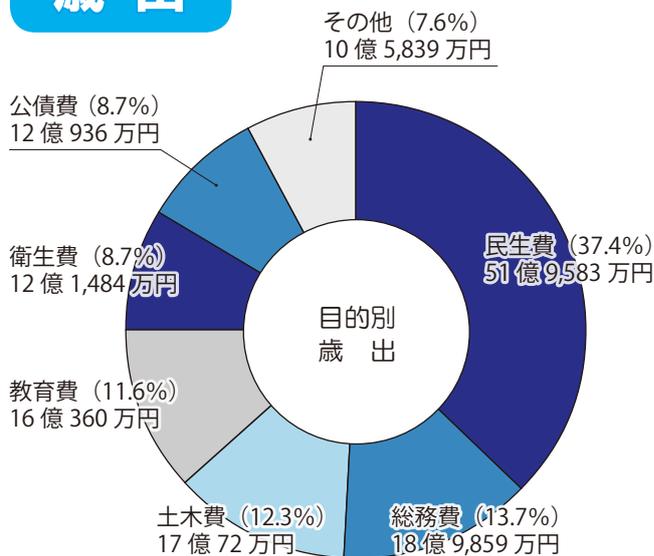
### ⑤健康増進、ごみ処理など

(衛生費 12億1,484万円)

#### 主な実施事業

美化センター管理運営事業、予防接種事業

## 歳出



### ⑥借入金の返済

(公債費 12億936万円)

### ⑦その他

(消防費・農林水産業費・商工費など 10億5,839万円)

#### 主な実施事業

消防施設整備事業、羅漢の里管理事業

## 特別会計

特別会計は、「保険料や使用料などの収入」で行う事業について、そのお金の流れを分かりやすくするために、一般会計とは別の会計で運営しています。

また、会計によっては、歳入不足となる場合があり、収支の均衡を図るため、その不足する経費を一般会計から繰り入れています。

会計名	歳入決算額A	歳出決算額B	形式収支 C=A-B	一般会計 繰入金
国民健康保険	29億8,997万円	29億6,984万円	2,013万円	2億3,336万円
看護専門学校	7億4,475万円	6億5,638万円	8,837万円	2億7,678万円
介護保険	30億1,829万円	29億6,719万円	5,110万円	4億2,349万円
後期高齢者 医療保険	6億2,801万円	6億2,796万円	5万円	1億4,155万円
合計	73億8,102万円	72億2,137万円	1億5,965万円	10億7,518万円

## 公営企業会計

公営企業会計は、事業形態が民間企業と類似し、その会計独自の収益をもって運営されている事業で、市民病院事業、下水道事業がこれにあたります。両事業において、安定的な運営を行うために、一般会計から補助金などを支出しています。

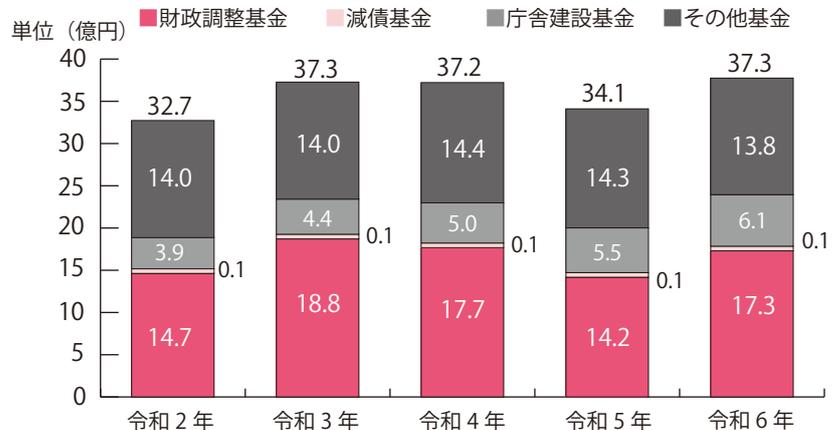
会計名	収益	費用	当期純利益	一般会計 補助金等
病院事業	6億3,864万円	6億6,710万円	▲2,846万円	9,848万円
下水道事業	17億514万円	21億1,849万円	▲4億1,335万円	4億7,973万円

## 市の貯金と借金

### 基金現在高（貯金）

市全体の基金現在高（貯金）は、前年度と比較して約3億1,487万円増加し、37億2,559万円となりました。

災害などの緊急時や大幅な税收減などの不測の事態に備えるためのお金である財政調整基金は、市税の増収などにより、取り崩しを行わなかったことで、前年度より約3億1,249万円増加しました。



### 地方債残高（借金）

市の全会計の地方債残高は、前年度と比較して約10億円減少し、224億5,036万円となりました。

第4期行財政健全化計画のもと、普通建設事業などの削減・平準化により地方債の借入額が償還額より少なくなり、地方債残高が減少しています。

